希少がん対策支援チーム、小児がんへの対応

当院では、発生頻度が低く専門的な診療が求められる『希少がん』に対しても、患者さんが安心して適切な治療を受けられるように希少がん支援チームを設置しています。
希少がんは種類が多く、診断や治療方針の決定が難しいこともしばしばありますが、当院では関係診療科が密に連携し、患者さんお一人ごとに合わせた適切な治療をご提供できるように取り組んでおります。また、小児がんなど含め当院で対応困難と判断された患者さんに関しては速やかに関係病院・診療科と綿密に連携をとり、適切に紹介できるよう取り組んでおります。

責任者：医師　座波　久光
委員：院内でがんの診療に関わる医師ならびに看護師、社会福祉士、事務系職員
　　がん相談支援室スタッフ

≪主な対応事項≫

- **診断**
  内科、外科、病理、放射線科等が参加するキャンサーボードで適切かつ速やかに診断を決定いたします。必要に応じてがんゲノム委員会と連携します。
- **治療**
  診断が確定しましたら、当該診療科の担当医師を決定し、速やかに治療を実施します。当院で治療が実施困難と判断された場合は関係医療機関に紹介を検討いたします。
- **利用できる制度や院内外の支援先の案内**
  がん相談支援室にて診療および社会生活上必要な情報を提供できるように努めます。

院内の相談窓口：[中頭病院　がん相談支援室]
中頭病院　希少がん対策支援チーム